

2025 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	視能学総合演習 II	分野	専門		
			教育内容	臨地実習		
	開講期	3年 前期	1 単位 30 時間	主たる授業方法 演習		
担当者	田野上 恭子（視能訓練士），他 5 名		専任兼任の別	専任		
	実務教員	■該当 □非該当	(実務経験の概略)			
授業概要	臨地実習に必要な知識、技術、患者対応を備えていることを確認するシミュレーション実習や技術試験を行う。					
到達目標	臨地実習臨むために必要となる基本的な知識、技術、態度を身につける。					
授業計画	1. 準備講座／不同視弱視 2. ノ 3. 準備講座／急性内斜視 4. ノ 5. 準備講座／滑車神経麻痺 6. ノ 7. 客観的臨床能力試験 8. ノ 9. フィードバック 10. ノ 11. 補足講座／眼鏡処方 12. ノ 13. 補足講座／眼鏡処方 14. ノ 15. 報告会					
成績評価の方法	客観的臨床能力試験（OSCE）。評定は、90 点以上を “S”，80 点以上を “A”，70 点以上を “B”，60 点以上を “C”，60 点未満は “D” とする。					
テキスト	なし					
参考図書						
備考・特色						

2025 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	臨地実習	分野	専門		
			教育内容	臨地実習		
	開講期	3 年 前期	14 単位 630 時間			
担当者	加藤 千鶴 (視能訓練士), 他		専任兼任の別	兼任		
	実務教員	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略)			
授業概要	眼科医療機関, 社会福祉施設, 幼稚園にて臨地実習を行う					
到達目標	<p>眼科医療機関での実習</p> <ol style="list-style-type: none"> 患者と直に接することにより、患者の心理・疾患・検査・訓練等の理解を深める 医療チームの一員であることの自覚を持つ 医療機関の体系を修得する <p>社会福祉施設での実習</p> <ol style="list-style-type: none"> 精神発達遅延や身体障害を持つ方との接し方やコミュニケーションの取り方を学ぶ <p>幼稚園での実習</p> <ol style="list-style-type: none"> 年齢による発達の差を知る 子どもとの接し方、接する際の注意点を学ぶ 子どものやる気を持たせる声掛けの方法を学ぶ 子どもへの注意の仕方を学ぶ 					
授業計画	<p>1 期間は 6 週間 (30 日) とする。</p> <p>病院実習を 2 期間、幼稚園と社会福祉施設の実習を 1 期間、計 3 期間 行う。</p> <p>病院実習先は 28、幼稚園は 3 施設、社会福祉施設は 1 施設である。</p>					
成績評価の方法	意欲や態度、健康管理、知識、技術、コミュニケーション能力、などを評価指標に挙げたループリック評価法にて、施設毎に評価を行う。1 施設につき 50 点満点、合計 200 点満点のうち 6 割以上で合格とする。評定は、90 点以上を “S”、80 点以上を “A”、70 点以上を “B”、60 点以上を “C”、60 点未満は “D” とする。					
テキスト	なし					
参考図書						
備考・特色						

2025 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	卒業研究	分野	専門		
			教育内容	臨地実習		
	開講期	3年 後期	1単位 30時間	主たる授業方法 演習		
担当者	佐藤 千鶴（視能訓練士）		専任兼任の別	専任		
	実務教員	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略)			
授業概要	グループ毎に自分たちの興味のある分野について詳しく調べ、それについて発表し、論文を提出する。					
到達目標	1) 自分の興味のある分野についての知識を深める 2) 文献を読み込んで、文章を分かりやすくまとめ、人に伝える力を身につける					
授業計画	1. 研究テーマを決める 2. ノ 3. 文献を集めて熟読する 4. ノ 5. どのような方向でまとめていくか、メンバーや教員と相談しながら決める 6. ノ 7. 抄録を作成する 8. ノ 9. 発表用原稿とスライドを作成する 10. ノ 11. 卒業研究発表会 予行 12. 卒業研究発表会 13. ノ 14. 発表会で出た指摘事項や質問事項について再検討する 15. 論文にまとめて提出する					
成績評価の方法	提出された論文の内容、まとめ方、提出期日、および発表会での内容、まとめ方、で評価する。評定は、90点以上を“S”、80点以上を“A”、70点以上を“B”、60点以上を“C”、60点未満は“D”とする。					
テキスト	なし					
参考図書						
備考・特色						

2025 年度 大分平松総合医療専門学校 視能訓練学科

基本情報	科目名	国家試験対策演習	分野	専門		
			教育内容			
	開講期	3 年 後期	7 単位 210 時間			
担当者	田野上 恭子, 他 5 名 (視能訓練士)		主たる授業方法	演習		
	実務教員	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	(実務経験の概略)			
授業概要	国家試験に向けて必要な知識を身につける					
到達目標	国家試験に準じた学内の模擬試験で 75 点以上を獲得する					
授業計画	担当分野 正： 斜視総論，斜視検査 田野上： 斜視の病態と治療，眼振 大塚： ロービジョン，弱視，臨床心理，保健医療福祉学 佐藤： 視覚生理学，人体と眼の構造と機能 吉本： 眼疾病学，眼科薬理学 御幡： 眼科検査学，生理光学 各科目の復習の講義を行う。 国家試験の過去問を解く。 演習問題を解く。 定期的に模擬試験を行い，到達度を確認する。 必要に応じて個別指導も行う。					
成績評価の方法	単位認定試験（マークシート方式）を 12 月下旬に行い，得点が 60 点以上で合格とする。評定は，90 点以上を “S”，80 点以上を “A”，70 点以上を “B”，60 点以上を “C”，60 点未満は “D” とする。					
テキスト	視能学／第 2 版（文光堂），現代の眼科学／第 13 版（金原出版），屈折異常とその矯正／第 7 版（金原出版），光学・眼鏡（医学書院），視能訓練学（医学書院），視能検査学（医学書院），ロービジョンケア（医学書院），理解を深めよう 視力検査 屈折検査（金原出版），理解を深めよう 視野検査（金原出版），など					
参考図書	視能矯正学（金原出版），など					
備考・特色						